

新発田市行政改革推進計画

＜令和 6 年度～令和 9 年度＞

令和 6 年 3 月策定

令和 7 年 3 月更新

新発田市

目 次

1	新発田市行政改革推進計画の基本的事項	P1
2	新発田市行政改革大綱に掲げる3つの重点項目と具体的な取組の体系	P2
3	3つの重点項目に基づく具体的な取組	P3
	(1) 時代のニーズに即した人材育成の推進	
	① 人材育成の推進	P4
	② 働きやすい職場づくりの推進	P5
	(2) 行政サービスの改善と向上	
	③ 行政サービス広域化の推進	P6
	④ 民間と連携した行政サービスの推進	P8
	⑤ 先端技術を活用した業務の簡素化	P9
	⑥ 行政手続のデジタル・オンライン化の推進	P10
	⑦ 行政評価を活用した行政マネジメントの推進	P11
	⑧ 第三セクター等の経営健全化	P12
	⑨ 官民の役割分担の明確化	P13
	(3) 健全財政の確保	
	⑩ 持続可能な行財政運営の構築	P14
	⑪ 財源の確保	P15
	⑫ 財政の見える化	P16
4	資料編	
	(1) 新発田市における行政改革の沿革	P17
	(2) 新発田市行政改革推進本部・懇談会 組織体系図	P18
	(3) 「まごころ対応」共通取組項目・「5S運動」共通取組項目	P19

1 新発田市行政改革推進計画の基本的事項

(1) はじめに

令和6年度を始期とする『新発田市まちづくり総合計画』を行政改革の面から支えるために『新発田市行政改革大綱』を策定し、行政改革を推進するために3つの重点項目を掲げています。

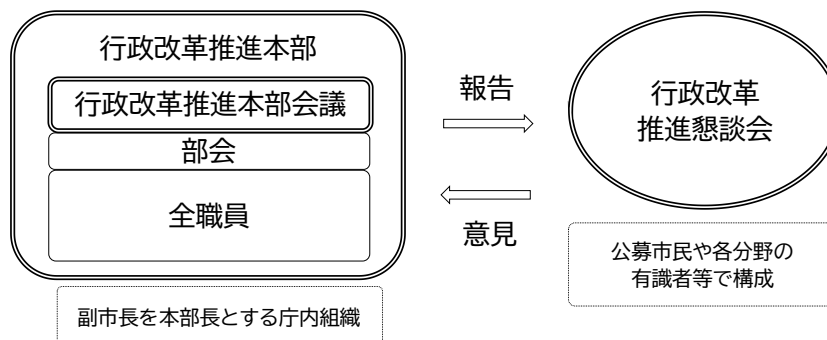
さらに、重点項目の実現のため具体的な取組内容などを示した『新発田市行政改革推進計画』を策定して進捗状況を確認することとしています。

(2) 計画期間

推進計画の期間は、行政改革大綱の推進期間（令和6年度から令和13年度）のうち、大綱の策定から4年後の令和9年度までの4年間とし、具体的な取組内容については進捗状況を踏まえて毎年度更新を行います。

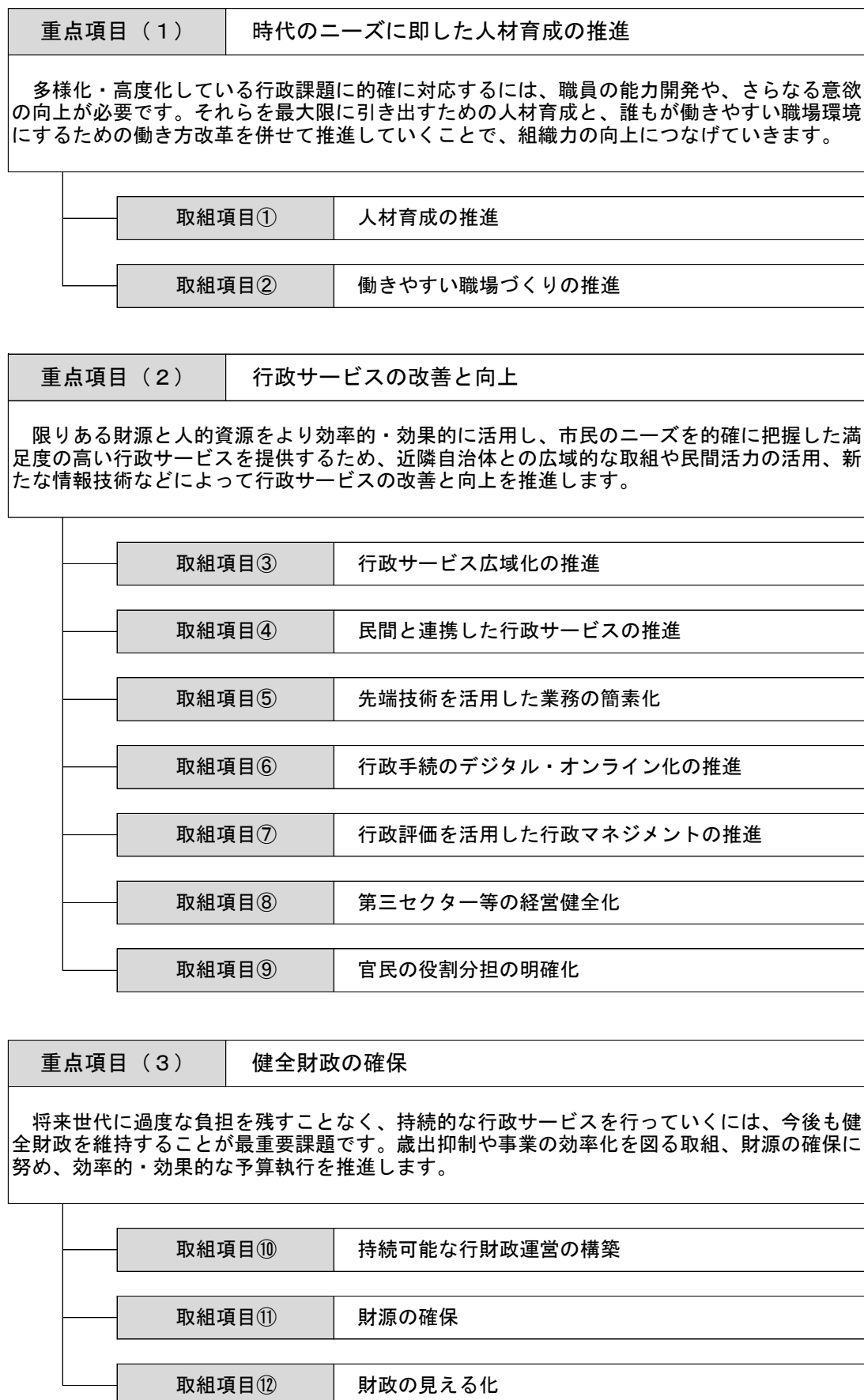
(3) 推進体制

副市長を本部長とした「新発田市行政改革推進本部」を中心に、職員一人ひとりが必要性を認識し、市役所全庁を挙げて推進します。併せて、行政改革の推進について、市民の声を反映させるため「新発田市行政改革推進懇談会」で意見、提言をお聞きします。



2 新発田市行政改革大綱に掲げる3つの重点項目と具体的な取組の体系

行政改革を推進するための3つの重点項目と具体的な取組の体系は、以下のとおりです。



3 3つの重点項目に基づく具体的な取組の推進

■推進計画の見方

・下記の点線部分を更新しています。

(ア) 4ページから16ページに掲載している実施内容の「実績」「実施状況・今後の取組・課題等」について、令和6年度の内容を記載しています。

(イ) 昨年度策定した時点で令和7年度以降の取組が未定だったものは、計画・目標欄の矢印記号や計画年度等を修正しています。

(1) 時代のニーズに即した人材育成の推進

凡例: ○既存取組

●R7からの新規取組

取組項目	①人材育成の推進	関係課	人事課		
取組概要	○職員研修を通じた人材育成の推進				
期待される効果	○職員の知識・技術の習得、主体性の向上 ○市民満足度の高い行政サービスの提供				
実施内容又は数値目標	年度	R6	R7	R8	R9
職員の能力向上に向けた取組の継続と研修の実施 【人事課】	計画・目標 (R6)	実施			
	実績	実施・検証・検討			
ア 研修計画に基づき、各種研修を実施した。今後も、市職員に求められていることや職員の研修ニーズを的確に捉え、職員個人の能力向上につながる研修を企画、実施する。 実施状況・今後の取組・課題等					
若手職員を対象に「確かな知識」と「豊かな人間性(心)」の形成を支援する研修の検討・実施 【人事課】	計画・目標 (R7)	実施・検証・検討	実施	実施・検証・検討	
	実績	実施・検証・検討			
イ 令和4年度から令和6年度にかけて、採用後おおむね10年以内の職務能力育成期にある若手職員を対象に、成果を出すための土台となる人間性や業務に対する主体性の向上に寄与することを目的とした連続研修（全6回）を実施した。受講アンケート・社会人基礎力調査・研修の中で出たワークエンゲージメントの向上に係る声などから、一定程度、研修効果があったものと考えられる。今後も、より良い内容となるよう企画・検討しながら事業を実施する。 実施状況・今後の取組・課題等					

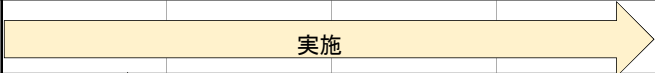
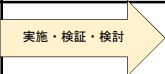
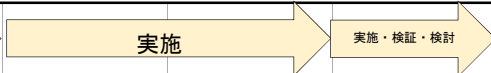
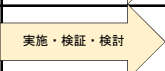
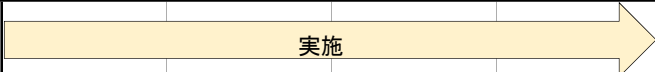
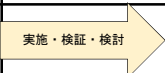
■一部修正、追加、削除する取組

ページ	実施内容	概要等
4	若手職員を対象に「確かな知識」と「豊かな人間性(心)」の形成を支援する研修の検討・実施【人事課】	【一部修正】昨年度の計画策定時点で令和7年度の取組は未定だったが、若手職員対象の連続研修に一定程度効果が確認できたことから、引き続き令和7年度以降も研修を実施する。
9	「ノーコードツール」の活用【情報政策課】	【追加】令和6年度に業務効率化に活用を目的にトライアル利用した「キントーン」について、効果検証・市長査定を実施。令和7年度本導入する。
12	(株)紫雲寺記念館の経営状況の分析、経営改善に向けた提言【観光振興課】	【削除】紫雲の郷の指定管理者だった(株)紫雲寺記念館の自己破産を受け、取組項目から削除する。

3 3つの重点項目に基づく具体的な取組の推進

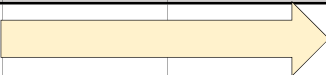
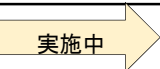
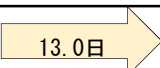
(1) 時代のニーズに即した人材育成の推進

凡例: ○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目①人材育成の推進		関係課		人事課		
取組概要		○職員研修を通じた人材育成の推進				
期待される効果		○職員の知識・技術の習得、主体性の向上 ○市民満足度の高い行政サービスの提供				
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
職員の能力向上に向けた取組の継続と研修の実施【人事課】		計画・目標 (R6)				
		実績				
		研修計画に基づき、各種研修を実施した。今後も、市職員に求められていることや職員の研修ニーズを的確に捉え、職員個人の能力向上につながる研修を企画、実施する。				
実施状況・今後の取組・課題等						
若手職員を対象に「確かな知識」と「豊かな人間性(心)」の形成を支援する研修の検討・実施【人事課】		計画・目標 (R7)				
		実績				
		令和4年度から令和6年度にかけて、採用後おおむね10年以内の職務能力育成期にある若手職員を対象に、成果を出すための土台となる人間性や業務に対する主体性の向上に寄与することを目的とした連続研修（全6回）を実施した。受講アンケート・社会人基礎力調査・研修の中で出たワークエンゲージメントの向上に係る声などから、一定程度、研修効果があったものと考えられる。今後も、より良い内容となるよう企画・検討しながら事業を実施する。				
実施状況・今後の取組・課題等						
デジタル人材の育成【人事課】 DX… Digital Transformationの略称		計画・目標 (R6)				
		実績				
		職員のデジタルリテラシーの向上及び各種デジタルツールの活用による業務時間の削減を目的として各種デジタル人材育成研修を実施した。今後は、全職員のデジタルリテラシーの底上げとともに、導入された各種デジタルツールを活用し業務改善に取り組む職員の育成に努める。				
実施状況・今後の取組・課題等						

(1) 時代のニーズに即した人材育成の推進

凡例: ○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目	②働きやすい職場づくりの推進	関係課	人事課			
取組概要	○ワーク・ライフ・バランスの推進					
期待される効果	○職員の業務に対する意欲の向上 ○職員の業務の質の向上					
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
職員の時間外勤務の削減 【人事課】	計画・目標 (R6)	8.15時間				8.05時間
	実績					
	実施状況・今後の取組・課題等	時間外勤務の事前命令の徹底、ノー残業デーの実施、ノー残業デーの時間外勤務状況の報告などにより、所属長による勤務時間の適正な管理を依頼した。引き続き「働き方改革行動プラン」に基づき、「週に1回以上定時退庁」、「20時完全退庁」に取り組み、業務の協力・分担を進め時間数の削減とともに職員間の偏りを是正する。 目標値：職員1人当たりの時間外勤務時間数(月平均)				
職員の年次有給休暇の取得促進 【人事課】	計画・目標 (R6)	11.4日	11.5日	11.6日	11.7日	
	実績					
	実施状況・今後の取組・課題等	年次有給休暇の年間5日取得を徹底するため、所属長から職員に対して休暇の取得を働きかけた。今後も、全庁で休暇を取得しやすい環境づくりに努める。 目標値：職員1人当たりの年次有給休暇取得日数(年平均)				

(2) 行政サービスの改善と向上

凡例: ○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目	③行政サービス広域化の推進	関係課	みらい創造課、情報政策課、市民まちづくり支援課、中央図書館、教育総務課、商工振興課			
取組概要	○広域連携による事業の検討及び実施 ○古文書データベースの広域化（対象地域：聖籠町、胎内市、村上市、関川村） ○小学校の空き校舎等を活用したシェアオフィスの整備及び企業誘致					
期待される効果	○定住自立圏域住民の生活機能や結びつき等の強化 ○近隣自治体との共同による効果的かつ効率的な事業の実施及び行政コストの削減 ○歴史図書館におけるレファレンスサービス（参考調査のサポート）の向上 ○「国立国会図書館サーチ」をポータルサイトとすることによる、全国的な情報発信 ○先端技術を有する企業の誘致・連携による地元事業者の技術促進 ○新たな産業創出・スタートアップ企業を支援することによる、若者の働く場の創出及びUターン・Iターンによる定住自立圏内における移住・定住の促進					
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏形成の推進（連携事業の検討・実施） 【みらい創造課】		計画・目標（R6）	検討・実施			
		実績	検討・実施			
実施状況・今後の取組・課題等		令和3年度末に策定した第2期定住自立圏共生ビジョンに基づき、引き続き圏域の生活機能や結びつき等の強化を図り、魅力ある定住自立圏の形成を推進する。（R6連携事業数：24事業）				
航空写真共同撮影事業の実施（定住自立圏連携事業） 【情報政策課】		計画・目標（R7）	検討	実施		
		実績	検討			
実施状況・今後の取組・課題等		航空写真の撮影は近隣自治体が共同で行うことにより効率的かつ経費削減効果が見込めることから、令和6年度は胎内市・聖籠町と共同撮影の実施や撮影方法等を検討した。令和7年度は共同撮影を実施する。				
在住外国人支援の実施（定住自立圏連携事業） 【市民まちづくり支援課】		計画・目標（R6）	実施			
		実績	実施			
実施状況・今後の取組・課題等		令和6年度は、これまで新発田市のみで行っていた日本語ボランティア養成講座を定住自立圏事業として胎内市と連携して実施した。また、新発田市・胎内市に在住する外国籍の方を対象に、胎内市きのと交流館で災害時の行動に役立つセミナーやワークショップなどを体験してもらった。引き続き、防災についてや、日本での生活に役立つ情報をより多くの在住外国人に届けられるよう、連携市や関係団体と検討・実施していく。				
移住、交流、定住の推進（定住自立圏連携事業） 【みらい創造課】		計画・目標（R6）	実施			
		実績	実施			
実施状況・今後の取組・課題等		令和6年9月ふるさと回帰フェア、11月新潟県U・Iターンフェアに出展した。市内では関係人口創出補助金を活用した移住者交流会が開催された。令和7年3月には縁結びイベント、しばたサポーター交流会を予定している。令和7年度以降も、広域的な移住・定住に向けた取組として、首都圏でのPR強化や移住者同士の交流会を実施していく。				

実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
近接自治体との古文書データ共有（定住自立圏連携事業） 【中央図書館】		計画・目標 (R6)	実施・検証			
		実績	実施			
	実施状況・今後の取組・課題等	令和6年度から胎内市・聖籠町とのデータ共有を開始した。引き続き古文書データの目録公開数の拡充に努め、メタデータのオープンソース化による国立国会図書館サーチ連携を目指す。				
校務支援システムの導入及び連携市町村内での相互連携による運用の効率化（定住自立圏連携事業） 【教育総務課】		計画・目標 (R6)	運用・効率化の検討			
		実績	運用・効率化の検討			
	実施状況・今後の取組・課題等	令和4年9月から圏域内で同一の校務支援システムを整備し、令和5年から本格利用を開始した。教職員の異動による再研修等の負担をシステム操作等の統一化を図り軽減した。今後、クラウド化を目指し、更なる相互連携、運用の効率化を検討する。				
シェアオフィスの整備及び運営（定住自立圏連携事業） 【商工振興課】		計画・目標 (R6)	実施・検討			
		実績	実施中			
	実施状況・今後の取組・課題等	シェアオフィス「キネス天王」に11社のDX関連企業が入居し、市内中小企業からのDX相談会を実施するなど、技術を波及させる取組を行った。また、旧本田小をシェアオフィスとして活用するため、令和7年度に改修工事を実施し、年度中のオープンを目指す。				

(2) 行政サービスの改善と向上

凡例:○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目	④民間と連携した行政サービスの推進	関係課	みらい創造課、総務課、高齢福祉課、市民まちづくり支援課、農林水産課、観光振興課、教育総務課			
取組概要	○民間活力を活用することで効果の見込める施設の検討 ○公共施設の管理のあり方の検証 ○民間委託による学校給食調理業務の実施					
期待される効果	○効果的・効率的な行政運営の両立					
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
新たな民間委託の検討 【みらい創造課】		計画・目標 (R6)	検討			
		実績	情報収集・共有			
実施状況・今後の取組・課題等		令和6年度は、官民連携（PPP／PFI）に関する県主催のシンポジウム等に参加し、関係課と情報共有を行った。 令和7年度も全国事例の情報収集のほか、効果的な施設管理の研究等を行い、新たな民間委託等の可能性について検討を進める。				
指定管理者制度の効果的な活用と検証 【総務課・高齢福祉課・市民まちづくり支援課・農林水産課・観光振興課】		計画・目標 (R6)	検証・検討			
		実績	検証・検討・指定			
実施状況・今後の取組・課題等		対象施設について、指定管理者制度を活用していく上での効果の検証や課題点等を検討した。 今後も、各施設が課題等を整理し、質の高いサービスを提供できるよう検討を行う。				
学校給食調理業務の民間委託の拡大 【教育総務課】		計画・目標 (R6)	委託拡大			
		実績	再編整備計画の推進			
実施状況・今後の取組・課題等		紫雲寺及び西共同調理場に加え、令和5年度から北及び五十公野共同調理場の業務を民間委託した。市直営である2共同調理場のうち、令和7年の川東共同調理場廃止の準備を進めている。これにより、民間委託拡大を盛り込んだ再編整備計画は完了となる。今後は、委託実績の効果検証を行い、契約更新に反映することで、民間委託の充実を図る。				

（２）行政サービスの改善と向上

凡例：○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目	⑤先端技術を活用した業務の簡素化	関係課	情報政策課、みらい創造課、こども課			
取組概要	○RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）による定型単純作業の自動化 ○生成AI（人工知能）の導入による業務効率化 ○先進事例等の検証 ○公立保育園のICT（情報通信技術）化による業務効率化					
期待される効果	○職員の事務作業時間及び時間外勤務の削減 ○市民サービスの維持・向上					
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の導入 【情報政策課】	計画・目標（R6）	本格導入・業務の拡大				
	実績	実施				
	実施状況・今後の取組・課題等	令和6年度は対象業務の拡大を目的とした業務効率化に関する調査を実施し、領収内訳書の集計などにRPAを活用することで業務時間の削減を図った。今後も業務支援を行いながら更なる業務効率化を目指し、対象業務の拡大や運用方法の整備を行う。				
●ノーコードツールの活用 【情報政策課】	計画・目標（R7）	本格導入・業務の拡大				
	実績	検討				
	実施状況・今後の取組・課題等	令和6年度は業務効率化に関する調査を実施し、トライアル利用を通してノーコードツール「キントーン」の導入効果の検証を行った。 令和7年度は本格導入に向け、準備を進める。				
生成AI（人工知能）の導入 【情報政策課、みらい創造課】	計画・目標（R6）	本格導入・業務の拡大				
	実績	一部導入				
	実施状況・今後の取組・課題等	令和6年度は一部の職員に対して生成AIのChatGPTを導入し、文章の作成補助・要約や翻訳・アイディア出し等の内部事務の効率化を図った。 令和7年度は利用対象とする職員を拡大するほか、更なる活用方法について検討していく。				
先行事例等の導入の検討 【みらい創造課】	計画・目標（R6）	情報収集・導入検討				
	実績	情報収集・横展開				
	実施状況・今後の取組・課題等	全国事例の情報収集を行い、全庁的な業務効率化につながる事例について担当課と共有し意見交換を行ったが、新規提案・導入まで至る取組はなかった。引き続き情報収取・意見交換等を行い、導入可能性を検討していく。				
公立保育園業務のICT（情報通信技術）化【こども課】	計画・目標（R6）	本格導入・業務の拡大				
	実績	本格導入				
	実施状況・今後の取組・課題等	令和3年度に2園、令和5年度に5園のシステム導入を行った。併せて、システム導入園に対し、計10台のパソコンの新規配備を行った。 令和6年度は未導入の5園にシステム導入を行い、全園のシステム導入が完了した。今後は、機能拡充や研修等を行い業務の効率化を図っていく。				

(2) 行政サービスの改善と向上

凡例: ○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目	⑥行政手続のデジタル・オンライン化の推進	関係課	情報政策課、こども課、市民生活課、環境衛生課、契約検査課、会計課、健康推進課、水道局業務課、みらい創造課			
取組概要	○行政手続のデジタル・オンライン化（多様化） ○更なるワンスオンリー、ワンストップ化（提出書類や窓口の一本化）の検討 ○水道使用の申込み（開閉栓）のデジタル・オンライン化 ○行政手続の押印義務の見直し					
期待される効果	○市民の行政手続などの利便性向上 ○行政手続オンライン化の促進 ○受付及び開閉栓業務の効率化					
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
ICTを活用した行政手続の検討・導入【会計課、契約検査課、情報政策課】 ICT／Information and Communication Technologyの略称。情報通信技術。	計画・目標（R6）					
	実績					
実施状況・今後の取組・課題等		令和6年度は、窓口での各種証明書の発行手数料や主要な施設等の利用料などの支払いのほか、電子申請システムでの一部手続においてキャッシュレス決済システムを導入した。また、電子契約システムを導入し、契約書の一部について電子化の運用を開始した。 令和7年度は、電子契約システムの対象を段階的に拡大していくほか、必要に応じてキャッシュレス決済システムの対象拡大を図る。				
チャットボットやアプリを活用した行政手続の検討・導入【こども課、市民生活課、環境衛生課、情報政策課】	計画・目標（R6）					
	実績					
実施状況・今後の取組・課題等		令和6年度は、子育て支援に関するAIチャットボットに加え、機能拡大として住民票や印鑑証明の取得方法、ごみの分別など、市民が知りたい情報に簡単にアクセスできるAIチャットボットの運用を開始した。また、窓口での一部の手続において、マイナンバーカードを利用するなど書かない窓口手続を拡大した。 令和7年度は、書かない窓口手続の更なる拡充を図るため、追加する機能を検討し、導入していく。				
ICTを活用した特定保健指導【健康推進課】	計画・目標（R6）					
	実績					
実施状況・今後の取組・課題等		市の集団健診を受診した40歳～64歳特定保健指導対象者の29.8%（53人）がICTによる指導を希望した。スマホ等によるウェブ上での面談や専用アプリを導入することで、対象者の利便性と対象者自身の生活習慣を可視化することができ、継続した支援が可能となった。令和7年度以降は対象に一部の人間ドック受診者も取り込み事業を展開していく。				
国が構築を進めている「引越しワンストップサービス」との連携【水道局業務課】	計画・目標（R6）					
	実績					
実施状況・今後の取組・課題等		民間事業者が構築・運営する「引越しポータルサイト」の県内での普及状況を鑑みながら、サービスの連携に向けて調査・検討を進める。				
各行政手続の押印義務の見直し【みらい創造課】	計画・目標（R6）					
	実績					
実施状況・今後の取組・課題等		令和6年度は市会計規則見直しに伴う押印廃止を中心に見直し、これまで市に裁量がある押印手続を約8割以上廃止した。引き続き業務改善に取り組む。				

(2) 行政サービスの改善と向上

凡例: ○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目	⑦行政評価を活用した行政マネジメントの推進		関 係 課		みらい創造課、財務課	
取組概要	○行政評価の精度向上 ○行政評価を予算編成に活用するための仕組みづくり					
期待される効果	○事務事業の改善・統廃合 ○行政資源（予算・人員）の効果的な配分 ○健全財政の確保					
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
行政評価の運用と改善 【みらい創造課】		計画・目標 (R6)	実施・検証			
		実績	実施・検証			
実施状況・今後の取組・課題等		新規事業から3年経過した事務事業を対象に「成果検証」を行うとともに、平均点が2点未満の事業や3年以上休止している事業継続や廃止・縮小など点検した。引き続き、評価精度の向上と効率的な事務遂行につなげる行政評価運用に向け、評価作業内容を適宜見直し、「PDCAサイクル」による評価・分析を行う。				
行政評価の予算編成への活用 【みらい創造課・財務課】		計画・目標 (R6)	実施・検証			
		実績	実施・検証			
実施状況・今後の取組・課題等		次年度の予算編成に向けて、行政評価（事務事業評価、施策評価）や国の動向等に基づき、5つの基本目標ごとに重点的・優先的に取り組む内容をまとめた「取組方針」を策定する。				

(2) 行政サービスの改善と向上

凡例: ○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目	⑧第三セクター等の経営健全化	関係課	財務課、みらい創造課、観光振興課			
取組概要	○第三セクター等の経営状況の分析及び必要な取組の検討・助言					
期待される効果	○行政サービスの改善・向上 ○第三セクター等の自立した経営基盤構築及び透明性の確保 ○第三セクター等による効率的・弾力的なサービスの提供					
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
市が出資する第三セクターの経営状況の把握・分析【財務課】		計画・目標 (R6)				
		実績				
実施状況・今後の取組・課題等		第三セクター等の決算状況の調査を行い、経営状況の把握と分析を行った。				
(株)エフエムしばたの経営状況の分析、経営改善に向けた提言【みらい創造課】		計画・目標 (R6)				
		実績				
実施状況・今後の取組・課題等		限られた職員体制の中でも収益に直結するよう、効果的な事業展開を行い経営改善を図る必要がある。収益の確保・透明性を図るため、令和6年度は放送単価や基準の整理・見直しを行った。また、令和7年度は地域おこし協力隊を活用し、動画や映像による情報発信に力を入れる予定である。引き続き、同社の経営状況を注視し、経営改善に向けた必要な提言を行っていく。				
(一社)新発田市観光協会の経営状況の分析、経営改善に向けた提言【観光振興課】		計画・目標 (R6)				
		実績				
実施状況・今後の取組・課題等		自主財源の確保とDMO法人としての役割を果たすため、収益事業の実施と観光資源を活かした施策の展開が必要である。祭礼などの伝統文化継承事業や地域支援事業などの公益事業も含め、引き続き事業内容の精査・検証を行い、安定した経営に向け必要な提言を行う。				

(2) 行政サービスの改善と向上

凡例: ○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目	⑨官民の役割分担の明確化	関係課	財務課、みらい創造課		
取組概要	○行政評価を活用した公共が担う役割の明確化				
期待される効果	○行政サービスの向上 ○効果的・効率的な行政運営の両立				
実施内容又は数値目標	年度	R6	R7	R8	R9
行政評価による官民の役割分担の検証【財務課・みらい創造課】	計画・目標(R6)	運用方法の検討		検証および廃止・移管	
	実績	運用方法の検討			
実施状況・今後の取組・課題等	市が実施している事務事業について、行政評価を活用し、費用対効果や公平性・効率性等の観点から、個人や地域団体・NPO、企業などの民間でのサービス提供が可能なものを抽出・選定し、民間活力の導入や民間への移管を検討する。令和6年度は、行政評価においてアウトソーシングなど官民の役割分担や業務効率化の取組を確認し、行政評価の運用方法について検討を行った。				

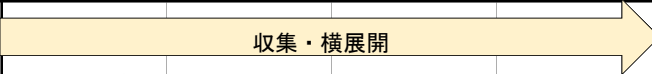
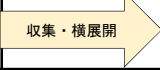
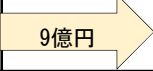
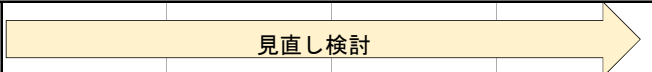
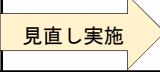
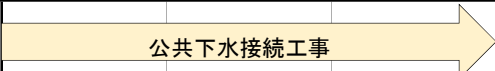
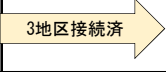
(3) 健全財政の確保

凡例:○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目	⑩持続可能な行財政運営の構築		関係課	財務課、下水道課		
取組概要	○国が推進する歳出改革や、全国の先行事例を参考とした歳出の抑制 ○下水道施設の老朽化対策(ストックマネジメント計画)の策定					
期待される効果	○歳出の抑制による持続的な市民サービスの提供 ○下水道施設の長寿命化による、一般財源支出の抑制(補助金の活用)					
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
国や先行事例等の収集及び横展開の検討 【財務課】	計画・目標(R6)					
	実績					
	実施状況・今後の取組・課題等	国が進めるDXの推進などの先進的取組について、庁内の情報共有を図るとともに、持続可能な行財政運営につなげるよう、財源の確保に努めた。				
ストックマネジメント計画策定による維持管理費増大の抑制 【下水道課】	計画・目標(R6)					
	実績					
	実施状況・今後の取組・課題等	令和6年度は、月岡処理場の耐震診断を実施した。 令和7年度は、月岡処理場の耐震及び改築更新の実施設計と管渠の更新工事を継続し、施設の安全性を確保する。今後は、施設の状況を勘案し、加治川処理場についても事業費の平準化を図りながら改築更新を進める。				

(3) 健全財政の確保

凡例: ○既存取組
●R7からの新規取組

取組項目	⑪財源の確保	関係課	財務課、総務課、みらい創造課、下水道課			
取組概要	○内外の先進取組事例の情報共有 ○歳入増に向けた取組の実施 ○公共施設の維持管理に必要な受益者負担の見直し ○農業集落排水施設の公共下水道への接続					
期待される効果	○財源の確保 ○持続可能な公共施設の維持管理 ○農業集落排水施設の公共下水道への接続による、処理場等に要する維持管理費の削減					
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
先行事例の収集及び横展開の検討【財務課】	計画・目標 (R6)					
	実績					
	実施状況・今後の取組・課題等	市内外の先進的取組について情報収集を行い、歳入増に向けた取組を検討する。令和6年度は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用や、新たに特別交付税措置される事業等について庁内に情報共有し、有効に活用した。引き続き、国県の制度改正等の動向や他市町村の取組事例等の情報収集を行い、庁内に共有する。				
ふるさとしばた応援寄附金の寄附額【総務課】	計画・目標 (R7)	6.5億円	11億円	12億円	13億円	
	実績					
	実施状況・今後の取組・課題等	R6年度からふるさと納税業務を民間事業者へ業務委託し、新規返礼品及び新規返礼品提供事業者を増やし、寄附額の増加につなげている。更なる寄附拡大に向け、返礼品の安定供給が必須であり、関係課を含めた対応が必要である。また、新発田市の認知度向上のためにも県内外に向けた情報発信を継続する。 目標値：ふるさとしばた応援寄附金の寄附額 実績値：R1 6億5,730万円 R2 5億4,017万円 R3 5億2,941万円 R4 4億8,792万円 R5 5億4,575万円				
施設使用料の見直し【みらい創造課】	計画・目標 (R6)					
	実績					
	実施状況・今後の取組・課題等	光熱費の高騰が続く中で持続可能な施設運営を維持するため、令和6年4月から公共施設使用料の見直しを行った。料金見直しは原則5年に一度としているが、維持管理コストの状況や近隣市町村の動向などを踏まえ、引き続き使用料の見直しについて検討を行っていく。				
地方創生交付金を活用した農業集落排水の公共下水道への接続(内竹地区、松岡地区、中井地区、島潟地区)【下水道課】	計画・目標 (R6)					
	実績					
	実施状況・今後の取組・課題等	内閣府の地方創生交付金事業により令和2年度から事業を実施している。令和6年度までで3地区が公共下水道へ接続し、他1地区(島潟地区)についても公共下水道への接続に向け工事を進めている。令和8年度までに全地区の公共下水道への接続(事業完了)を予定しているが、物価高騰等の影響を踏まえた事業調整が必要となっている。				

(3) 健全財政の確保

凡例: ○既存取組
●R7からの新規取組

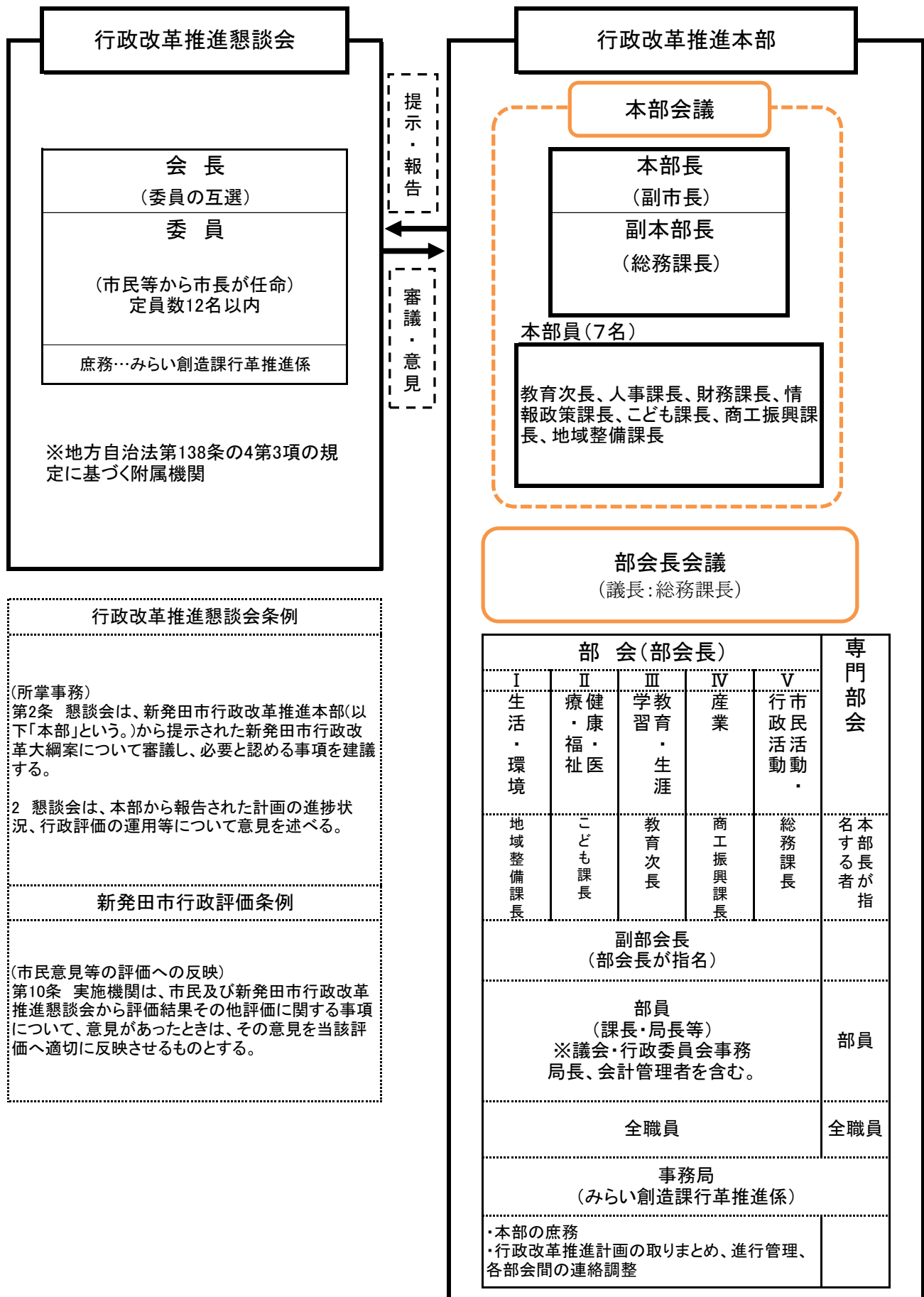
取組項目	⑫財政の見える化	関係課	財務課			
取組概要	○公会計資料の整備及び活用 ○分かりやすい財政状況の公表					
期待される効果	○効果的、効率的な予算執行					
実施内容又は数値目標		年度	R6	R7	R8	R9
公会計資料の整備及び分析 【財務課】		計画・目標 (R6)	整備・分析・活用			
		実績	整備・分析・活用			
実施状況・今後の取組・課題等		新地方公会計で作成する財務資料の分析、経年比較や他自治体との比較を行い、当市の財務状況を検証した。また、セグメント分析による効果的・効率的な事務事業の推進や施設の維持管理への活用について検討した。				
分かりやすい財政状況の公表 【財務課】		計画・目標 (R6)	財政状況の公表			
		実績	財政状況の公表			
実施状況・今後の取組・課題等		予算概要、決算概要等の各種公表資料を作成した。引き続き、計数資料の見直しやグラフの変更など、分かりやすい資料となるよう適宜改善を行う。				

4 資料編

(1) 新発田市における行政改革の沿革



(2)新発田市行政改革推進本部・懇談会 組織体系図



(3)「まごころ対応」共通取組項目・「5S運動」共通取組項目

新発田市のまちづくりの理念に基づき、常に効果や効率の視点を持ちながら、市民の信頼を得られるように、市民の立場に立った「まごころ行政」を展開するため、全職員が以下の項目に取り組んでいます。

「まごころ対応」共通取組項目

- 1 進んであいさつをし、相手の立場に立って接します。
- 2 スピーディーで正確な事務処理を行います。
- 3 手続はできるだけ分かりやすく、簡潔にします。
- 4 清潔な身だしなみ、明るい環境で市民を迎えます。
- 5 誰にでも分かりやすい言葉で親切な説明を行います。
- 6 電話が鳴ったらすばやく取り、自分の名前を名乗ります。

平成 15 年度 新発田市行政改革推進本部決定事項

「5S運動」共通取組項目

1 整理・整頓

- (1) 書類、資料等はこまめに整理し、不要なものは廃棄します。
- (2) キャビネットの中は必要なものがすぐ取り出せるように整理します。
- (3) 机の上は、いつもきれいにし、帰る時には何も置きません。

2 清掃・清潔

- (1) 気づいたゴミは率先して拾い、気づいた汚れは率先して拭き取ります。
- (2) ゴミの分別を徹底し、資源のリサイクルに努めます。
- (3) 快適な室内環境に努め、職場や公用車内をきれいに保ちます。

3 躰(しつけ)

- (1) 会議等の出席は、ゆとりを持って5分前に集合します。
- (2) 「報・連・相」によるコミュニケーションを図り、必要な情報は職場内で共有します。
- (3) 常にコスト意識を持って諸経費の節減に努めます。

平成 18 年度 新発田市行政改革推進本部決定事項